

## ライフ・サイエンス

## 人々の生活を豊かに・健やかに

素材の加工技術を活かしたポリマー材料の開発で治療時の負担を軽減し、人々のQOL向上に貢献するヘルスケア関連製品を提供します。



## 社会課題

「高齢化」は世界規模で急速に進展しています。中でも日本は、医療の進歩、国民の健康意識、保険制度の拡充などにより、世界に冠たる長寿国となりました。長寿化に伴い、ヘルスケアニーズも大きく変化しています。健康の増進やより良い医療への関心は拡

大し、これまでの疾病の治療のみならず、治療の負担軽減や快適性、予防医療、早期検査などQOL (生活の質) に対する取り組みが重要視され始めました。低刺激で、年齢を問わず使いやすい、より快適な医療・ヘルスケア製品が求められています。

## 東洋インキグループの価値提供

低角質剥離性・高透湿性  
ソフトスキンウレタン粘着剤を提供

東洋インキグループでは、培ってきたポリマー合成やフィラー分散技術を用いて、ヘルスケア分野の粘着剤や樹脂の開発に取り組んでいます。これまで皮膚に貼るサージカルテープ、スポーツテープ用粘着剤や化粧品用の樹脂製品を提供してきましたが、従来に比べ角質剥離量が少なく、透湿性が高いソフトスキンウレタン粘着剤を開発しました。この粘着剤は、皮膚から剥離したときに角質を取りにくく、また皮膚の蒸れを低減することで、皮膚ダメージが軽減するため、長期貼付用ドレッシング材や床ずれ防止用シートなど、治療時の負担軽減や快適性の向上が期待できます。

## ウレタン樹脂の特徴

- **低臭気性** …………… 匂いが気にならない。
- **高透湿性** …………… 皮膚への蒸れを低減できる。
- **低皮膚刺激性** …… 皮膚への刺激が少ない。
- **再剥離性** …………… 剥がしてまた貼り直しができる。

また、日常生活の中で意識せずに健康管理をするという医療業界のニーズに対し、エレクトロニクス市場に展開している柔軟性ポリマーの技術を用い、心拍・呼吸・筋電などの生体情報を非接触で測定する電界センサーシステム用材料の開発にも取り組んでいます。メディカル・ヘルスケア用途に適切なポリマー材料を提供していくことで、人々に優しい医療へ貢献していきます。

## 医薬品事業の新たな拠点

現在、貼付型医薬品の新工場\*の建設を進めています。

医薬品事業ではポリマー開発技術をベースとして新投与経路での貼付薬の開発に力を入れています。最新の法規制に対応した新工場の完成により、生産性向上や長期にわたる安定供給が可能となり医薬品サプライヤーとしての社会的責任を果たしていきます。今後は、欧米などの海外の最新規制にも対応可能となるため、新工場に併設した開発部門を充実、新規開発を加速し事業の拡充を目指していきます。

\*新工場：滋賀県守山市守山製造所内に現在建設中。2023年に稼働予定。